

表2 学習・教育到達目標と評価方法および評価基準(全体)
表2(a) 学習・教育到達目標と評価方法および評価基準(基準1(2)(a)関連分抜粋)
表2(b) 学習・教育到達目標と評価方法および評価基準(基準1(2)(b)関連分抜粋)
表2(c) 学習・教育到達目標と評価方法および評価基準(基準1(2)(c)関連分抜粋)
表2(d) 学習・教育到達目標と評価方法および評価基準(基準1(2)(d)関連分抜粋)
表2(e) 学習・教育到達目標と評価方法および評価基準(基準1(2)(e)関連分抜粋)
表2(f) 学習・教育到達目標と評価方法および評価基準(基準1(2)(f)関連分抜粋)
表2(g) 学習・教育到達目標と評価方法および評価基準(基準1(2)(g)関連分抜粋)
表2(h) 学習・教育到達目標と評価方法および評価基準(基準1(2)(h)関連分抜粋)
表2(i) 学習・教育到達目標と評価方法および評価基準(基準1(2)(i)関連分抜粋)

以下、「関連する基準1の(a)-(i)」の列にチェックマーク機能を利用して関連する行のみを印刷する

学習・教育到達目標の大項目	学習・教育到達目標の小項目 (小項目がある場合記入、 ない場合は空欄とする)	関連する基準1の(a)-(i)の項目	関連する基準1の(a)-(i)の対応	評価方法および評価基準(改訂後)
(A)技術内容の高度化に対応できる基礎学力(数学、自然科学、情報)と自己学習能力を持つ技術者。	(A-1)数学・物理・化学などの自然科学、情報技術に関する共通基礎を理解できる。	(c) (g)	◎ ○	<p>コースごとに指定された下記代表科目から、各コースとも6単位以上を取得することで評価する。</p> <p>【機械創造システムコース】 応用数学(4M②)、数値計算法(4M①)、材料力学Ⅱ(4M②)、機械工学演習(4M①)、振動工学(4M①)、確率・統計基礎(5M③)、流体力学(5M②)、応用物理(5M選①)</p> <p>【知能ロボットシステムコース】 アルゴリズム(4R①)、熱力学(4R②)、水力学(4R②)、材料力学Ⅲ(4R①)、機械力学(4R②)、熱システム工学(5R①)、流れ学(5R②)</p> <p>【電気電子コース】 応用数学(4E②)、応用物理(4E②)、数値計算法(5E①)、応用数学Ⅳ(5E②)、情報処理Ⅳ(4E選①)</p> <p>【情報システムコース】 応用数学Ⅰ(4I②)、応用数学Ⅱ(5I②)、電気回路演習(4I①)、電気磁気学Ⅱ(4I②)、数値計算法Ⅰ(4I①)、数値計算法Ⅱ(4I①)</p> <p>【物質化学コース】 有機化学Ⅲ(4C①)、有機化学Ⅳ(4C①)、物質化学演習Ⅲ(4C①)、応用物理Ⅰ(4C①)、化学数学(4C②)、物理化学Ⅲ(4C①)、物理化学Ⅳ(4C①)、物理化学Ⅴ(5C①)</p> <p>これにより、自然科学・情報技術に関する基礎を理解し、生産デザイン工学の基礎学力を身に付けることができる。</p>
(A)技術内容の高度化に対応できる基礎学力(数学、自然科学、情報)と自己学習能力を持つ技術者。	(A-2)自主的・継続的な学習を通じて、共通基礎科目に関する問題を解決できる。	(c) (g)	◎ ○	<p>下記代表科目の全てを取得することで評価する。</p> <p>専攻科専門基礎必修科目: 数学特論Ⅰ(S1①)、数学特論Ⅱ(S2②)、物理学特論Ⅰ(S1②)、物理学特論(S1②)</p> <p>自主的・継続的な学習を通じて、基礎科目に関する問題を解決できるようになり、生産デザイン工学の基礎学力を身に付けることができる。</p>
(B)専攻分野の「生産」に関わる専門知識を身に付けた技術者。	(B-1)共通基礎知識を用いて、専攻分野における設計・製作・評価・改良など生産に関わる専門工学の基礎を理解できる。	(c) (d) (g)	○ ○ ○	<p>コースごとに指定された下記代表科目から、各コースとも6単位以上を取得することで評価する。</p> <p>【機械創造システムコース】 材料力学Ⅱ(4M②)、熱力学(4M②)、水力学(4M②)、機械加工学(4M①)、設計工学(4M②)、振動工学(4M①)、伝熱工学(5M②)</p> <p>【知能ロボットシステムコース】 熱力学(4R②)、制御工学(4R②)、機械設計(4R②)、図形処理工学(5R①)、熱システム工学(5R①)</p> <p>【電気電子コース】 電気回路Ⅱ(4E②)、電気磁気学Ⅱ(4E②)、電子回路Ⅲ(4E②)、数値計算法(5E①)、電子工学(4E①)、パワーエレクトロニクスⅠ(4E①)、基礎制御工学Ⅰ(4E②)</p> <p>【情報システムコース】 ネットワークプログラミング(4I②)、ネットワーク構成論Ⅰ(4I①)、電気磁気学Ⅱ(4I②)、電子回路Ⅱ(4I②)、システム制御理論Ⅰ(5I①)、システム制御理論Ⅱ(5I①)、信号処理(5I②)</p> <p>【物質化学コース】 化学工学Ⅰ(4C②)、化学工学Ⅱ(4C②)、無機化学Ⅲ(4I①)、無機化学Ⅳ(4C①)、生物材料化学(4C①)、食品工学Ⅰ(4C①)、食品工学Ⅱ(4C①)、物質工学Ⅰ(5C①)、物質工学Ⅱ(5C①)</p> <p>これにより、設計・製作・評価・改良などの生産に関わる専門工学の基礎を理解し、生産デザイン工学の「生産」に関わる専門知識を身に付けることができる。</p>
(B)専攻分野の「生産」に関わる専門知識を身に付けた技術者。	(B-2)自主的・継続的な学習を通じて専門工学の基礎科目に関する問題を解決できる。	(d) (g)	◎ ○	<p>コースごとに指定された下記代表科目から各コースとも6単位以上、および専攻科で選択した重点領域の下記専門科目から各領域とも6単位以上を取得することで評価する。</p> <p>本科専門科目の中から指定した代表科目: 【機械創造システムコース】 機械工学演習(4M①)、熱機関工学(5M②)、流体力学(5M②)、自動制御Ⅱ(5M①)、メカトロニクス工学(5M②)</p> <p>【知能ロボットシステムコース】 創造ロボット演習(4R④)、流れ学(5R②)、メカトロニクス工学(5R②)</p> <p>【電気電子コース】 電気回路Ⅱ(4E②)、電気磁気学Ⅱ(4E②)、基礎制御工学Ⅱ(5E①)、電気電子工学演習Ⅰ(4E①)、電気電子工学演習Ⅱ(4E選①)、電気機器Ⅱ(4E①)、パワーエレクトロニクスⅠ(4E①)</p> <p>【情報システムコース】 制御理論Ⅰ(4I①)、制御理論Ⅱ(4I①)、過渡現象論(4I①)、情報基礎(4I①)、制御機器Ⅰ(4I①)、制御機器Ⅱ(5I①)、ネットワーク構成論Ⅱ(5I①)、データベース基礎(5I①)</p> <p>【物質化学コース】 基礎生物化学工学Ⅰ(5C①)、基礎生物化学工学Ⅱ(5C①)、生物反応工学(5C①)、化学工学演習(5C①)、触媒化学(5C①)、化学反応工学(5C①)、応用化学演習(5C①)、応用生物演習(5C①)、微生物工学Ⅰ(5C①)、微生物工学Ⅱ(5C①)</p> <p>専攻科重点領域専門科目: 【A領域】 環境モニタリング技術(S1選②)、環境分析化学(S2選②)、金属・無機材料工学(S1選②)、機械材料応用工学(S2選②)、電気材料工学(S2選②)、資源環境情報分析(S2選②)、生物学特論(S1選②)、有機・高分子材料工学(S1選②)</p> <p>【B領域】 流体力学特論(S1選②)、機械振動学(S1選②)、電磁エネルギー変換(S1選②)、バイオエネルギー(S1選②)、環境・熱エネルギー特論(S2選②)、発電電工学(S2選②)、電磁アクチュエータ(機構)(S2選②)、グリーンエネルギー(S2選②)</p> <p>【C領域】 ロボティクス(S1選②)、電気電子回路設計(S1選②)、電子デバイス工学(S1選②)、情報理論(S1選②)、化学反応制御学(S1選②)、生産プロセス工学(S2選②)、計算知能工学(S2選②)、コンピュータ制御論(S2選②)、量子材料学(S2選②)</p> <p>自主的・継続的な学習を通じて、専門工学の基礎科目に関する問題を解決できるようになり、生産デザイン工学の設計・製作・評価・改良など「生産」に関わる専門知識を身に付けることができる。</p>

注 釈

学習・教育到達目標の大項目	学習・教育到達目標の小項目 (小項目がある場合記入、 ない場合は空欄とする)	関連する基準 1の(a)-(g) の項目	関連する基準 1の(a)-(f) の対応	評価方法および評価基準(改訂後)
(C)専門工学知識の上に「生産」に関わる実践的技術を身に付けた技術者。	(C-1)専門工学の実践に必要な知識を深め、実験や実習を通じて、問題解決の経験を積む。	(d)	◎	<p>コースごと、または専攻科で実施される下記科目の単位を取得することで評価する。</p> <p>工学実験(本科4年)、工学実験(本科5年)、創造工学実験(S1①)</p> <p>さらに、コースごとに指定された下記本科専門必修科目の代表科目の中から、各学科とも4単位以上を取得することで評価する。</p> <p>本科専門必修科目の中から指定した代表科目: 【機械創造システムコース】 機械加工学(4M①)、設計工学(4M②)、創造デザイン演習 I (4M②)、創造デザイン演習 II (4M②)、創造デザイン演習 III (5M②) 【知能ロボットシステムコース】 図形処理工学(5R①)、創造ロボット演習Ⅰ(4R④)、創造ロボット演習Ⅱ(5R③) 【電気電子コース】 数値計算法(5E①)、電気電子工学演習Ⅰ(4E①)、電気電子工学演習Ⅱ(4E①)、電カシステム工学(5E②)、電子回路製作実習(4E①)、電気機器設計(5E①)、パワーエレクトロニクス演習(5E①)、数値計算法演習(5E①) 【情報システムコース】 ネットワークプログラミング(4I②)、電子回路Ⅱ(4I②)、電気回路演習(4I①)、ネットワーク構成論Ⅰ(4I①)、プロジェクトマネジメント演習(5I②)、システム制御演習(5I②)、制御機器Ⅱ(5I①) 【物質化学コース】 化学工学Ⅰ(4O②)、化学工学Ⅱ(4O②)、応用化学演習(5O①)、化学工学演習(5O①)、応用生物工学Ⅰ(5O①)、応用生物工学Ⅱ(5O①)</p> <p>これにより、実践に必要な知識を深め、実験や実習を通じて問題解決の経験を積むことができようになり、生産デザイン工学の設計・製作・評価・改良など「生産」に関わる実践的技術を身に付けることができる。</p>
(C)専門工学知識の上に「生産」に関わる実践的技術を身に付けた技術者。	(C-2)機器類(装置・計測器・コンピュータなど)を用いて、データを収集し、処理できる。	(d)	◎	<p>コースごと、または専攻科で実施される下記科目の全ての単位を取得することで評価する。</p> <p>工学実験(本科4年)、工学実験(本科5年)、創造工学実験(S1①)</p> <p>これにより、機器類を用いたデータ収集、処理を行うことで、生産デザイン工学の設計・製作・評価・改良など「生産」に関わる実践的技術を身に付けることができる。</p>
(C)専門工学知識の上に「生産」に関わる実践的技術を身に付けた技術者。	(C-3)実験結果から適切な図や表を作り、専門工学知識をもとに分析し、結論を導き出せる。	(d) (h)	◎ ○	<p>コースごとに実施される卒業研究(本科5年)の単位を取得することで評価する。</p> <p>これにより、実験結果から適切な資料を作り、分析し、結論を導き出せるようになり、生産デザイン工学の設計・製作・評価・改良など「生産」に関わる実践的技術を身に付けることができる。</p>
(C)専門工学知識の上に「生産」に関わる実践的技術を身に付けた技術者。	(C-4)実験や実習について、方法・結果・考察を的確にまとめ、報告できる。	(d) (h)	◎ ○	<p>コースごと、または専攻科で実施される下記科目の単位を取得することで評価する。</p> <p>工学実験(本科4年)、工学実験(本科5年)、卒業研究(本科5年)、創造工学実験(S1①)</p> <p>これにより、基礎的な知識・技術を駆使して実験や実習について、方法・結果・考察を的確にまとめ、報告できるようになり、生産デザイン工学の設計・製作・評価・改良など「生産」に関わる実践的技術を身に付けることができる。</p>
(D)幅広い視野から問題を捉え、複数分野の工学知識・技術を有機的に結び付け、総合的に問題を解決する素養(デザイン能力)を有する技術者。	(D-1)専攻分野における専門工学の基礎に関する知識と基礎技術を総合し、応用できる。	(d)	◎	<p>下記専攻科専門必修科目の単位を取得することで評価する。</p> <p>生産デザイン工学特別研究Ⅰ(S1③)、Ⅱ(S1③)、Ⅲ(S2③)、Ⅳ(S2③)</p> <p>これにより、基礎知識と基礎技術を統合し、応用できるようになり、広い視野から問題を捉え、解決するための「デザイン」能力において、幅広い工学基礎と創造的技術開発力といった総合技術を身に付けることができる。</p>
(D)幅広い視野から問題を捉え、複数分野の工学知識・技術を有機的に結び付け、総合的に問題を解決する素養(デザイン能力)を有する技術者。	(D-2)専攻分野の専門性に加え、他分野の知識も学習し、幅広い視野から問題点を把握できる。	(d) (e) (f)	◎ ○ ○	<p>下記専攻科専門必修科目の単位を取得することで評価する。</p> <p>生産デザイン工学(S1②)、生産デザイン工学演習(S1①)、創造工学実験(S1①)</p> <p>これにより、専門性に加え、他分野の知識も学習し、幅広い視野から問題点を把握できるようになり、広い視野から問題を捉え、解決するための「デザイン」能力において、幅広い工学基礎と創造的技術開発力といった総合技術を身に付けることができる。</p>
(D)幅広い視野から問題を捉え、複数分野の工学知識・技術を有機的に結び付け、総合的に問題を解決する素養(デザイン能力)を有する技術者。	(D-3)要求された課題に対して幅広い視野で問題点を把握し、その解決方法を提案できる。	(d) (e) (f)	○ ◎ ○	<p>専攻科で実施される下記科目の単位を取得することで評価する。</p> <p>生産デザイン工学演習(S1①)、創造工学実験(S1①)、生産デザイン工学特別研究Ⅰ(S1③)、Ⅱ(S1③)、Ⅲ(S2③)、Ⅳ(S2③)</p> <p>さらに、指定された書式の「デザイン報告書」を作成し、提出すること。</p> <p>これにより、知識や技術を統合し、課題解決のための調査や実験を自発的に計画し、遂行できるようになり、広い視野から問題を捉え、解決するための「デザイン」能力において、幅広い工学基礎と創造的技術開発力といった総合技術を身に付けることができる。</p>
(D)幅広い視野から問題を捉え、複数分野の工学知識・技術を有機的に結び付け、総合的に問題を解決する素養(デザイン能力)を有する技術者。	(D-4)工学知識や技術を統合し、課題解決のための調査や実験を自発的に計画し、遂行できる。	(d) (h)	○ ◎	<p>コースごと、または専攻科で実施される下記科目の単位を取得することで評価する。</p> <p>卒業研究(本科5年)、生産デザイン工学演習(S1①)、創造工学実験(S1①)、生産デザイン工学特別研究Ⅰ(S1③)、Ⅲ(S2③)、Ⅳ(S2③)</p> <p>これにより、知識や技術を統合し、課題解決のための調査や実験を自発的に計画し、遂行できるようになり、広い視野から問題を捉え、解決するための「デザイン」能力において、幅広い工学基礎と創造的技術開発力といった総合技術を身に付けることができる。</p>
(D)幅広い視野から問題を捉え、複数分野の工学知識・技術を有機的に結び付け、総合的に問題を解決する素養(デザイン能力)を有する技術者。	(D-5)工学知識や技術を統合し、課題解決のための結果の整理・分析・考察・報告ができる。	(d) (h)	○ ◎	<p>コースごと、または専攻科で実施される下記科目の単位を取得することで評価する。</p> <p>卒業研究(本科5年)、創造工学実験(S1①)、生産デザイン工学特別研究Ⅳ(S2③)</p> <p>これにより、知識や技術を統合し、課題解決のための結果の整理・分析・考察・報告ができるようになり、広い視野から問題を捉え、解決するための「デザイン」能力において、幅広い工学基礎と創造的技術開発力といった総合技術を身に付けることができる。</p>
(E)多様な文化を理解する能力を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を有する技術者。	(E-1)歴史・文化・日本文学(国語)・外国語を学び、多様な文化を理解できる。	(a)	○	<p>下記本科共通一般科目および専攻科教養科目の中から、6科目以上を取得することで評価する。</p> <p>本科共通一般科目: 近代文学(4②)、英語AⅣ(4②)、社会選択[文化交際史](4/5選②)、社会選択[文化地理学](4/5選②)、一般総合選択[日本文学論](4選①)、一般総合選択[英語特論](4選①)、一般総合選択[英語演習](4選①)、英語C(5②) 専攻科教養科目: 文章表現論(S1②)、英語運用能力演習(S1①)、科学技術英語演習Ⅰ(S1①)、夏期留学対応科目(S1/S2選①)、国際社会学演習(S2①)</p> <p>これにより、多様な文化を理解できるようになり、広い視野から問題を捉え、解決するための「デザイン」能力において、国際社会で尊敬され、信頼される国際センスを持つコミュニケーション力を身に付けることができる。</p>

注 釈

学習・教育目標(D)全体の総合評価:
「大学評価・学位授与機構」から学士号を授与されること。
また、生産デザイン工学特別研究Ⅰ～Ⅳの履修期間中に、外部公開発表会での研究発表を1回以上行うこと。

学習・教育到達目標の大項目	学習・教育到達目標の小項目 (小項目がある場合記入、 ない場合は空欄とする)	関連する基準 1の(a)-(g) の項目	関連する基準 1の(a)-(i) の対応	評価方法および評価基準(改訂後)
(E)多様な文化を理解する能力を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を有する技術者。	(E-2)実験・実習・調査・研究内容について、日本語で論理的に記述し、報告・討論できる。	(d) (f)	○ ◎	コースごと、または専攻科で実施される下記科目の単位を取得することで評価する。 卒業研究(本科5年)、生産デザイン工学演習(S1①)、創造工学実験(S1①)、生産デザイン工学特別研究Ⅳ(S2③)注E1 これにより、論理的に記述し、報告・検討できるようになり、広い視野から問題をとらえ、解決するための「デザイン」能力において、国際社会で尊敬され、信頼される国際センスを持つコミュニケーション力を身に付けることができる。
(E)多様な文化を理解する能力を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を有する技術者。	(E-3)専攻分野の技術英文を含め、英文を読解し、日本語での内容説明ができる。	(f)	◎	下記専攻科教養科目の単位を全て取得することで評価する。 英語文献講読Ⅰ(S1②)、英語運用能力演習(S1①)、英語文献講読Ⅱ(S2①)、科学技術英語演習Ⅰ(S1①) これにより、専門分野の技術英文等を解読し、日本語での内容説明ができるようになり、広い視野から問題をとらえ、解決するための「デザイン」能力において、国際社会で尊敬され、信頼される国際センスを持つコミュニケーション力を身に付けることができる。
(E)多様な文化を理解する能力を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を有する技術者。	(E-4)調査・研究の目的と内容を理解した上で、その概要を英語で記述できる。	(f)	◎	下記専攻科科目の単位を全て取得することで評価する。 生産デザイン工学特別研究Ⅳ(S2③) (指定された書式の「英文概要」を提出すること。) 英語運用能力演習(S1①)、英語文献講読Ⅱ(S2①)、科学技術英語演習Ⅰ(S1①) これにより、研究の目的と内容を理解した上で概要を英語で記述できるようになり、広い視野から問題をとらえ、解決するための「デザイン」能力において、国際社会で尊敬され、信頼される国際センスを持つコミュニケーション力を身に付けることができる。
(E)多様な文化を理解する能力を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を有する技術者。	(E-5)英語による基本的な会話ができる。	(f)	◎	下記の本科共通一般科目および専攻科教養科目の全てを取得することで評価する。 英語C(S2)、英語運用能力演習(S1①)、科学技術英語演習Ⅰ(S1①) これにより、英語による基本的な会話ができるようになり、広い視野から問題をとらえ、解決するための「デザイン」能力において、国際社会で尊敬され、信頼される国際センスを持つコミュニケーション力を身に付けることができる。
(F)歴史・文化・社会に関する教養と頑健な心身を持ち、技術の社会・環境との関わりを考えることのできる技術者。	(F-1)歴史・文化・社会に関する知識を持ち、それらを示すことができる。	(a)	◎	下記の本科共通一般科目および専攻科教養科目の中から、3科目以上の単位を取得することで評価する。 本科共通一般科目：近代文学(4②)、生理スポーツ(4②)、社会選択[法学]・[経済学]または[経済学]・[法学](4/5選前期①)・後期①、社会選択[文化交流史](4/5選②)、社会選択[文化地理学](4/5選②)、社会選択[哲学・倫理学](4/5選②)、一般総合選択[日本文学論](4選①)、一般総合選択[社会特論](4選①)、一般総合選択[体育特論](4選①) 専攻科教養科目：文章表現論(S1②)、北九州産業史(S1②)、社会科学特論(S1選①)、北九州市社会学論(S1選①)、国際社会学演習(S2①)、知的財産(S2①)、技術者倫理・法規(S2①) これにより、歴史・文化・社会に関する知識をもち、それらを示すことができるようになり、広い視野から問題をとらえ、解決するための「デザイン」能力において、地球にやさしい技術を開発できる心豊かな人間性を含む技術倫理を身に付けることができる。
(F)歴史・文化・社会に関する教養と頑健な心身を持ち、技術の社会・環境との関わりを考えることのできる技術者。	(F-2)工業技術と社会・環境との関わりを理解し、社会・環境への効果と影響を説明できる。	(a) (b)	◎ ○	下記の本科科目および専攻科科目の中から、1科目以上を取得することで評価する。 学外実習(4選①)注F1、学外実習Ⅰ(4選①)注F2、長期学外実習(4選③)、学外実習Ⅱ(5選①)注F2、特別実習(S1/S2選①～③)、専攻科特論Ⅰ(S2選②) さらに、下記専攻科科目の単位を全て取得することで評価する。 北九州産業史(S1②)、知的財産(S2①)、技術者倫理・法規(S2①)、生産デザイン工学演習(S1①) これにより、工学技術の社会・環境への効果と影響を説明できるようになり、広い視野から問題をとらえ、解決するための「デザイン」能力において、地球にやさしい技術を開発できる心豊かな人間性を含む技術倫理を身に付けることができる。
(F)歴史・文化・社会に関する教養と頑健な心身を持ち、技術の社会・環境との関わりを考えることのできる技術者。	(F-3)技術者としての役割と責任(倫理観)を認識し、説明できる。	(a) (b) (d) (e)	○ ◎ ◎ ○	下記専攻科専門基礎科目の全ての単位を取得することで評価する。 知的財産(S2①)、技術者倫理・法規(S2①) これにより、技術者としての役割と責任を認識し、説明できるようになり、広い視野から問題をとらえ、解決するための「デザイン」能力において、地球にやさしい技術を開発できる心豊かな人間性を含む技術倫理を身に付けることができる。
(G)多様性のあるチームの中で、成果を上げるために行動できる技術者	(G-1)メンバーとして、自己のなすべき行動を判断し実行できる。	(i)	◎	下記専攻科専門必修科目の全ての単位を取得することで評価する。 生産デザイン工学演習(S1①)、創造工学実験(S1①) これにより、多様性のあるチームの中で成果を上げるのに必要なメンバーシップを身に付けることができる。
(G)多様性のあるチームの中で、成果を上げるために行動できる技術者	(G-2)リーダーとして、他者の取るべき行動を判断し、適切に行動させるように働きかけることができる。	(i)	◎	下記専攻科専門必修科目の全ての単位を取得することで評価する。 生産デザイン工学演習(S1①)、創造工学実験(S1①) これにより、多様性のあるチームの中で成果を上げるのに必要なリーダーシップを身に付けることができる。

注 釈

注F1:電気電子コース、物質化学コースで開講
注F2:機械創造システムコース、知能ロボットシステムコース、情報システムコースで開講